

二〇二〇年度

東京純心女子中学校入学試験

一日適性検査型Ⅰ

(特待生選抜を兼ねる)

注意

- 一. 解答は解答用紙に記入しなさい。
- 二. 問題文は上下二段になっています。

1 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。(*印のついている言葉には、本文のあとに「注」があります。)

「ニュースの読み解き」という視点から言うと、ネットだからその便利な機能である「検索」の使い方にも十分に気をつけなくてはいいけません。

* 原発あるいは放射能について、「怖いな」と思っている人は、「原発 危険」「放射能 怖い」といったキーワードで検索をするようになります。すると、原発がいかに危険か、放射能がいかに怖いか、という記事が、信頼できるものも信頼できないものも含めて山のように出てきます。それらの記事を眺めていると、「やっばり原発は危険なものなんだ。世の中の人は、みんなそう思っているのに、今の政治家は全然*民意を掬えていない！」と考えてしまっています。

一方、今回は全電源を喪失するという特別な理由でひどい事故が起きてしまったけれども、常識的な管理ができれば、原発はそれほど危険ではないと考える立場の人は、「原発 安全」といったキーワードを入れて検索することになる。すると「原発は安全である」という記事が、同じように信頼できるものも信頼できないものも含めて山のように出てくる。それらの記事を眺めていると「原発はうまく使えば、そんなに危険なものじゃない。それなのに、反対しているあの連中は偏っているんじゃないか」と考えるようになりま

す。つまり、ネットというのは、自分の知りたいこと、自分の考えを補強する情報なら、いくらでも見つけることができる*ツールなの

です。しかし、自分とはまったく違う考え方、自分が想像もできないような別の考え方は、なかなか目に入ってこないのです。ですから、気を付けて使わないと、ネットを使えば使うほど、どんどん視野が狭くなってしまう危険性があります。

その点、新聞は、基本的には一覽で記事を見せるので、自分の興味の外にあるテーマや意見も入ってきます。もちろん新聞に書いてある意見がすべて正しいというわけではありません。各新聞によって*論調に偏りがあるのは事実です。けれども、新聞を眺めてさえいれば、とにかく自分と同じ意見の記事も、自分とは違う意見の記事も、そもそもまったく興味を持っていないテーマの記事も目に入ってきます。①ニュースに対するバランス感覚を身に付けるためには、これは必要なことなのです。

また、ネットのブログや掲示板には、個人が書いたことが、誰からのチェックも受けずにそのまま掲載されています。そこにはもちろん専門家が書いた優れた*知見もありますが、どうしようもないデマも多く存在します。ただの思いつきもあります。事実関係のチェックを受けていない情報があふれています。情報が*玉石混交なのです。

ネットの世界ではデマも拡散します。たとえば圧倒的な人気を誇ったテレビドラマ「半沢直樹」シリーズ。最終回終了後、ツイッターで「視聴率が54・4%」という情報が飛び交いました。

この情報、視聴率の仕組みを少しでも知っていれば、すぐにおかしいとわかるものです。視聴率は、ビデオリサーチという視聴率調査会社が、調査を依頼した家庭に*モニターを置いて、それぞれの

家庭がどんな番組を見ているかを記録し、翌日の早朝に、そのデータを電話回線を使って会社に届け、会社はそれをコンピュータで集計。午前8時45分に、各テレビ局に伝えていきます。放送終了直後に視聴率がわかるはずはないのです。

まして、この番組の最終回（日曜日）の翌日は秋分の日で会社はおやすみ。実際の視聴率42・2%（関東地区）というデータが発表されたのは、火曜日の朝でした。ネットの世界では、意図的にデマを流す人もいますし、善意で情報を拡散させようとして間違えたりする人もいます。

一方、新聞やテレビから発信される情報は圧倒的に粒ぞろいです。トレーニングを受けたプロのジャーナリストが、事実関係を確認しながら（これを「裏を取る」と言います）記事を作り、さらにベテランの*デスクが*フィルターとなつて、内容を再チェック。そこを通つたものだけが発信されているわけですから、個人が1人で発信しているものくらべて、情報の信頼度が段違いに高くなるのも当然です。

つまり、ネットを有効に利用するためには、「この記事がどれくらい信頼できるのか」と、いつも考えながら記事を読む必要があるということです。すべての記事を最初から「正しい情報」だと*鵜呑みにするのはなくて、②書き手のこともしっかりと見極めて、情報を選ぶのが大切なのです。

繰り返し返しますが、③ネットを使ってはいけないということではありません。ネットを有効に利用するために、普段から「この情報が信頼に足るものなのかどうか」を判断しつつ、視野が狭まらなように自分の興味関心の外のニュースについても意識的に触れ

るようにすることを心がけましょう。

（池上彰『情報を200%活かす 池上彰のニュースの学校』）

〔注〕

原発 …… 原子力発電（所）。
民意を掬う …… 国民の意思をくみ取る。
ツール …… 道具。
論調 …… 議論の調子や傾向。
知見 …… 物事を見たり知ったりして得られた、しっかりした考え。
玉石混交 …… すぐれたものとつまらないものが入り混じって区別がない状態。
モニター …… 機械などの動きや状態を監視する装置。
デスク …… 新聞社などで記事の取材や編集を指揮する人。
フィルター …… 不純物や不要なものを取り除く装置や仕組み。
鵜呑み …… 人の言うことなどを、よく検討・理解せずにそのまま取り入れること。

〔問題1〕

①「ニュースに対するバランス感覚を身に付ける」とありますが、ここでいう「ニュースに対するバランス感覚」とはどのようなものですか。それを五〇字以上六〇字以内で説明しなさい。なお、や。や。「なども、それぞれ字数に数え、一まずめから書き始めること。

〔問題2〕

②「書き手のこともしっかりと見極めて、情報を選ぶ」とありますが、具体的にはどのようなことをして、どのような情報を選ぶこ

とだと筆者は述べていますか。その内容を四〇字以上五〇字以内で書きなさい。なお、や。や「なども、それぞれ字数に数え、一まずめから書き始めること。

〔問題3〕

③「ネットを使ってはいけないということではありません」と筆者は言っています。

そこで、あなたが次の「疑問」について考えるために、ネットを使って調べることとします。その場合、どのようなことに注意をするべきですか。

次の「手順」と「きまり」にしたがって、本文の内容をふまえながら、四百字以上五百字以内で説明しなさい。

〔疑問〕

「小学生に携帯電話（携帯）やスマートフォン（スマホ）を学校に持ち込むことを許すと、さまざまな問題が起こるので、持ち込みは禁止すべきだ」という意見があるが、それは適切だろうか。

〔手順〕

1 この疑問について考えるために、ネットでどのような情報を検索するのか、具体的な例を挙げる。

2 それらの情報を検索する理由を書く。

3 それらの情報をネットで検索するときに、どのようなことに注意すべきなのか、本文の内容をふまえて、理由とともに説明す

る。

〔きまり〕

- 最初の行から書き始める。
- 各段落の最初の字は一字下げで書く。
- 段落をかえたときの残りのますめは字数として数える。
- 「や。や。や」なども、それぞれ字数に数える。ただし、。と「は同じますに入れ、一字と数える。